

2019 年度第 8 回 理事会 議事録

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

日 時：2020 年 3 月 9 日(月) 12:57 ~ 16:42

場 所：日本代協 会議室

出席者：全理事数 18 名、出席理事数 18 名、出席監事数 3 名（杉本監事、吉川監事、渡辺監事）

会長 金子智明氏は、議長席につき、出席理事数の確認を行い、本理事会は定款第 33 条により、有効に成立した旨を報告して開会を宣し、直ちに議事に入った。

< 会長挨拶（業務報告） >

新型コロナウイルスの感染防止に細心の注意を払いながらの理事会出席に感謝申し上げます。イベントや移動の自粛による国内消費の冷え込みが起こっており、資金繰りに腐心するお客さまが増えてきている。代理店の収入への影響も容易に想定できる状況である。自社のキャッシュ・フローなども対策を講じる必要がある。学校の臨時休校要請を受けて、各所で対策が実施されているが、代理店自身の対応も災害想定だけの BCP だけではなく、ウイルス感染対策等も必須として、再考しなければならない。学校閉鎖の際の代理店従業員の在宅勤務やマイカー通勤規定の見直し、非対面での早期更新手続き（電話募集によるテレワ - ク対応）など、新型コロナウイルス感染症対応マニュアル等の整備も不可欠で、「うつらない、うつさない対応」を徹底して実行しなければならない。

2/19（水）埼玉県代協の「創立 60 周年感謝のつどい」に参加した。各代協の会長はじめ数多くの業界関係者の参加があり、式典、セミナー（講師：財務省関東財務局理財部金融監督第 4 課の佐藤寿昭課長）と素晴らしい企画、運営で盛り上がった。佐藤課長には「保険代理店ヒアリングを通じて感じたこと：2 つの C について考える」と題して講演いただいた。「顧客本位の業務運営の答えは募集の現場から遠い霞が関ではなく、保険募集の現場にあると認識しており、その現場で代理店との対話、顧客と向き合う姿勢からその答えを教えてもらおうとヒアリングを実施した。ヒアリングを通じて相互理解を図ることもできる。」と目的紹介があった。「2 つの C」とは、PDCA の「C」と connect（つなぐ）の「C」であるとして、それぞれの重要性の説明があった。代理店の実態を把握するために、PDCA の C（監査）に重点を置いたこと、また、「現場で見たものを保険会社に伝えるという代理店の役割、つなぐ C も重要」と強調し、昨年台風被害で自らも被災しながら顧客に向き合う姿を目の当たりにして感動したことも話された。地域で活躍している代理店は、何よりも地元の評価を意識した活動をしていることが素晴らしいとの認識も示された。

新型コロナウイルスの感染に歯止めがかからない中、明日 3/10 の臨時総会は異例の開催となるが、運営に協力をお願いします。理事として各代協の直近の情報を確認し、スピード感と行動力をもって、三冠王はじめ、事業計画の各目標を達成すべく、フォローをお願いします。
3/9 理事会での闊達な論議、3/10 臨時総会、会長懇談会もよろしくお願いする。

[審議事項]

1. 会員資格・会費の考え方

- ・高橋ビジョン委員長より、資料に基づき、「会員資格・会費の考え方」について提案があり、審議採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・安定的かつ積極的な代協経営をするために、会費体系等の見直しの検討を行う場合は、基本的な考え方を整理した「会員資格・会費の考え方」(以下、本書という)を参考に、各代協の個別事情を踏まえた検討を推奨する。

なお、本書に記載した指針は、一律に求める、強制力あるルールでは全くなく、あくまでも基本的な考え方や目安を参考として示したものである。

【主な内容】

- ・(背景1) 環境の変化による代理店の統廃合等の影響で代理店数の減少が懸念されること、ならびに、募集従事者数1~2名の会員が全体の1/3にあたる約3,900店存在している実情を踏まえて、先を見据えた対策が必要と考え、今後の安定的かつ積極的な代協経営を可能とする会費収入のあり方の検討をビジョン委員会の諮問事項とした。

- ・(背景2) 募集従事者数を勘案した会費体系(加算方式・区分方式)の代協と、募集従事者数に関係なく一律会費という代協が半数ずつ存在する。また一般会員の解釈の違いから、会費区分の有無や管理方法が異なっていることも判明した。こういう中、前年度は17代協が赤字経営を強いられており、複数の代協から対応策に関する日本代協としてのアドバイスを求められている。

先を見据えた対策として、募集人の数に応じた会費体系へ移行する場合には、一般会員資格の解釈、会費額についても整合性を図る必要がある。

- ・協議を進めるほどに、多くのイレギュラーケースがあることも判明したため、会員の定義、解釈の問題から協議を始め、考え方について一定の整理を行い、検討の参考として本書を作成した。

- ・正会員は自然人である個人であることを再確認した。(代理店の代表者であり、店主や法人登記上の代表者である必要はない)

- ・一般会員は正会員の所属する代理店以外でも可能にすることを推奨。(正会員に所属する役員・募集人である一般会員もあり、その他の一般会員もいる。)

- ・以下の3点を行う場合は、定款変更が必要になるため、総会決議を要するが、「法定記載事項」や「日本代協の共通規定」については、定款を変更することはできないので留意いただきたい。標準定款の第9条は「法定記載事項」でもあり、「日本代協の共通規定」でもある。正会員の規定は変更不可であるが、一般会員については一部変更を可能にしようというのが今回の提案である。

一般会員資格の「正会員が代表する」という文言を削除する。(定款を変更する場合は、関連規則との整合性も確認する。)

正会員以外の理事数を実態に即した人数にする。

勤務型代理店等は正会員資格から除き一般会員資格とすることを明記する。(取扱いは現行通り)

この変更は、今後代理店合併等により会員資格を失う可能性のある方や、代協活動の入口として、一般会員資格の門戸を拡げることを目的とするものである。

- ・先を見据えると、会費については人数方式の採用を推奨する。その際の注意点をドラフト版に記載し、併せて会費設定の参考となるシミュレーションシートを作成した。

- ・一般会員資格の門戸を拡げることにより、賛助会員とせざるを得なかった会員を一般会員として受け入れることができる反面、正会員の所属する代理店の募集人も一般会員であることを理解しなければならない。人数方式の会費体系に移行する際は、正会員の所属する代理店の募集人からは会費を徴収しないこととし、その他の代理店と区別することが合理的ではないかと考えている。併せて入退会規則、会費規定の見直しも行う必要がある。

〔資料 審1.〕 「会員資格・会費の考え方」(席上別冊配付)

2. 日本代協アドバイザーの委嘱

- ・事務局より、日本代協アドバイザー候補の大塚英明氏のプロフィール紹介があり、審議・採決の結果、日本代協アドバイザーの委嘱が全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・大塚英明早稲田大学大学院法務研究科 教授に日本代協アドバイザーを委嘱する。

【主な内容】

- ・経歴書の通り、日本代協と密接な関係をもつ商法・保険契約法の専門家であり、「損害保険代理店委託契約書コンメンタル上中下」、「会社法の道しるべ」を始め、数多くの著書・論文を出している。また、日本保険学会理事や日本代協代理店賠償責任保険「審査会」会長でもある。
- ・近年、個別相談事案が少なくなったため、現在就かれている日本代協の法律顧問を解き、日本代協アドバイザーを委嘱する。

〔資料 審2.〕 日本代協アドバイザーの委嘱：大塚英明氏 (P.14-15)

3. 災害義援金の給付

- ・事務局より、2月28日まで受け付けていた2019年自然災害による被災会員への義援金の配分について提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・分配案（事務所の床上浸水以上の被災会員に@30,000円を支払い、残金をそれ以外の被災会員で分配する案）に基づき、義援金を被災会員が所属する各代協にまとめて支払う。（見舞金規定に該当する11会員に各30,000円を、該当しない47会員に各25,462円）

【主な内容】

- ・災害見舞金規定に該当する11会員に対しては、すでに1会員あたり20,000円の見舞金（日本代協の規定）を所属する各代協あて送金している。
- ・以下の18代協から義援金が寄せられた。コンベンション会場での募金と合わせ、1,526,755円となった。
広島、鳥取、島根、愛媛、茨城、富山、岡山、熊本、大分、埼玉、石川、山梨、長崎、福井、北海道、秋田、新潟、鹿児島
- ・着金となった義援金の取り扱いに関しては、「被災会員に個別に支払う、別途各代協マターで上乘せして支払う、会費に充当する」など各代協で判断し、対応いただきたい。

〔資料 審3.〕 2019年度義援金配分(案)(P.16)

4. 第39次PIASの参加者募集中止

- ・事務局より、第39次PIASの開催中止の提案があり、審議・採決の結果、全会一致で承認された。

【決定したこと】

- ・第39次PIASの開催は中止する。4/3(金)を締切としていた参加者募集を中止する。次年度における対応は改めて、検討することとする。

【主な内容】

- ・世界的に新型コロナウイルスの感染が広がりを見せる中で、多くの企業代理店において海外出張が禁止となっており、現時点で6月の状況を楽観視して申し込みをすることができなくなっている。
- ・訪問先の米国では日本からの入国拒否も検討とのニュースが出ており、実施のハードルが上がっている。6月になって状況が好転していたとしても、現地訪問先で日本人の団体を気持

ちよく受け入れてもらえるか不安もある。仮に日本を出国できたとしても、米国の状況によっては帰国不可、あるいは、帰国後に隔離になる可能性も否定できず、安易に渡航できない状況である。

- ・現在（3月6日時点）の申込者は1名であり（申込書到着ベース・日企社を除く）上記状況の中で4月3日まで募集を続けるよりも、現時点で中止の判断を行う方が影響は小さくて済む。（出張期間中の業務の前倒し処理や代替手配等の必要もある）
- ・PIASは参加者の自己負担で実施しており、受け入れ先の状況も含め、行程や訪問先、研修内容等に不透明感が残るまま催行を前提に進めることには問題が多い。

〔資料 審番外〕 第39次代理店米国研修（PIAS）参加者募集中止の件（2020年6月実施）（席上配付）

[報告事項]

1.各理事からの報告（地域別、委員会別）

(1)地域担当理事からの報告（事前提出の地域別事業計画アクションシート以外）

- ・2020年度に会長交代の予定がある代協について、各地域担当理事から報告があった。
- ・損保協会各支部や事務局との関係構築が進められた。協調して開催したセミナーにも多くの参加者を集め、双方のPRができた。損保トータルプランナーの消費者への周知活動として、連名文書・ポスターの発送を行うこととなった。
- ・新たな表彰の柱となった「目指せ、三冠王！」は取組み易くなったこともあり、獲得を強く意識してラストスパートをかけている代協が多い。最後まであきらめずに取り組む。
- ・義援金の受付について認識していない代協があった。
- ・コロナウイルス感染の広がりの中ではあったが、それぞれ対策を施して、サイバーセキュリティ対策セミナー、公開講座パネルディスカッション等を開催している。また、ブロック協議会では、各代協の好取組事例も共有している。（和歌山のCSRの取組み：ぼうさい探検隊マックコンクール佳作作品のPRにより、校長先生が全校生徒の前で取組み説明を行った事例を共有）
- ・7代協（9代協中）が三冠王を獲得できる見込みで、ラストスパート中である。
- ・3月予定のブロック協議会は中止となった。最新の情報を伝達し、各会長の思いの実現を支援する。日本代協アカデミーの利用者ID登録において、20%に達していない代協があり、忸怩たる思いであるが、最後までフォローする。

(2)企画環境委員会

- ・木下委員長より、共通化・標準化の推進について報告があり、共有された。
- ・既集約済みの事案について、企画環境委員会の小委員会で選別・整理を行っている。3月内に提言内容案を作成できるよう取り組んでいる。

〔地域別委員会別資料〕企画環境委員会報告シート（地域別委員会別資料P.18）

(3)教育委員会

- ・石川委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。
- ・日本代協アカデミーの登録推進においては、791会員・3,034IDが登録となった。福井県代協が目標達成第一号となった。136ID/目標134ID、101.5%の達成率。教育委員が志高く、会員代理店に出向き、現場で説明するという取組みの賜物である。試行から浸透にはこの動きが有効と考えている。
- ・2020年度のコンサルティングコース受講者募集では、1,468名の受講生を集めた。会員比率は73.6%（1,0025/1,393名）。代申社別では損保ジャパン社が446名でトップ、2位は三井住友で373名であった。
- ・2019年度のコンサルティングセミナーも順調に開催してきたが、最終開催となる2/27（木）のセミナーは開催したものの、新型コロナウイルスの感染拡大という状況での開催であった

ため、欠席もあった。欠席者対策として、セミナーの振替を希望される方には、6月の試験受験に間に合う時期に別途代替セミナーを準備する。また、この日程も都合がつかない受講者には、在籍期間をさらに1年延長する特別措置をとることになった。

- ・4月の委員会は、現在、開催方法を検討中である。
- ・各地の会員の好取組事例収集の第三弾「リタイアメントプラン」に関しては、アンケート結果を検証中である。

〔地域別委員会別資料〕教育委員会報告シート（地域別委員会別資料P.19）

(4)組織委員会

- ・中島委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。
 - ・イベント開催にあたり、準備をしっかりと行ったところでは、成果につながっている。福岡新春セミナー、東京特別セミナー、埼玉60周年記念式典、阪神ブロック人材育成セミナーなど。動員できるテーマの時は、思い切った集客を行うことを推奨する。
 - ・ホームページの活用推進に関しては、次回委員会にてYouTubeのお気に入り登録と所属代協の「いいね登録」を標準化する。
 - ・仲間づくり推進に関しては、取組みが低迷している代協へのテコ入れが必要である。
 - ・近況報告 福岡では某損保社の専業代理店が60店から20店ほどに減少している。コープ代理店の会員化が進んだ。兵庫、北海道も加入し、共栄社は4店増加。日本代協アカデミーの利用者ID登録に関しては、募集従事者数700名の会員が間もなく登録を完了する予定である。

〔地域別委員会別資料〕組織委員会報告シート（地域別委員会別資料P.20）

(5)CSR委員会

- ・小田島委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。
 - ・ぼうさい探検隊の積極推進に関しては、来年度に向かっての活動が始まっている。今年度応募先へのお礼状と来年度の案内状を作成し、活用する。
 - ・サイバーセキュリティ対策に関するセミナーに関しては、まだ具体的な日程が確定していない代協が3代協ある。新型コロナウイルスの感染状況によっては、延期となることも考えられるので、フォローいただきたい。
 - ・出前講座の実施に関しては、取組み方がわからない等の問い合わせもあるため、directで委員間情報共有し、理解を深めたいうえで周知策を検討する。

〔地域別委員会別資料〕CSR委員会報告シート（地域別委員会別資料P.21）

(6)広報委員会

- ・野原委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。
 - ・日本代協ホームページの改定に関しては、2/17に漸くリリースすることができた。「わかりやすさ、使いやすさ、扱いやすさ」をコンセプトに動画も盛り込み、改定できた。活用いただきたい。会員専用ページへのログインID/PWは毎年4/1に変更し、メール登録の全会員にメール送信でお知らせする。また、現状各代協から提出される「活動報告」に関しても、管理画面から直接データ投稿いただく方式に変更したので、活用いただきたい。
 - ・PR動画は順調に視聴回数が伸びている。各代協にはDVDも提供済である。視聴者の年齢と性別では、45歳以上が全体の6割以上、男性が7割を占め、女性比率も昨年比較で上がっている。視聴回数が伸びている代協は、SNSのシェアによるものが多い。SNS拡散をフォローする。
 - ・代協の魅力を伝える動画については、正副会長の動画撮影は完了しており、インタビューから得られたキーワードをベースに映像制作に入る。3月末完成を目指す。
 - ・「みなさまの保険情報」の利用推進は、本質を伝える動画制作を検討する。顧客本位の業務

運営を实践するうえで必要な「情報提供」の一環として「みなさまの保険情報」を、また、「体制整備」で求められる PDCA の D の柱として「日本代協アカデミー」を強く推奨する流れをつくる。

〔地域別委員会別資料〕広報委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.22）

(7)ビジョン委員会

- ・高橋委員長より、諮問・推進事項に関する報告があり、共有された。
- ・大規模災害時の鑑定補助制度創設に関しては、大規模風雪水害の損害サポート制度についてはすでに各損保で始まっているため、要望案は大震災に限定することとした。
- ・代理店の体質強化に向けた支援策の検討・提供に関しては、代理店経営サポートデスクには 2 月末で累計 32 件の相談があった。資料で添付した「質問概要と回答」シートのとおり、事業継続力強化計画認定申請、情報セキュリティー、給与改定等に関する相談に対応した。また、2 月 18 日付で日本代協版「BCP 策定ガイド・同シート」を送信した。また、新型コロナやインフルエンザ等のパンデミック用 BCP シート（席上配付分はドラフト）も近日中に提供する。

〔地域別委員会別資料.〕ビジョン委員会報告シート（地域別委員会別資料 P.23）
〔資料 報 1.〕2020 年度各代協通常総会対応一覧表（P.17-18）

2. 前回理事会（2020.2.7 開催）以降の主な業務報告

(1)仲間づくり推進 2 月末状況、「目指せ、三冠王」の取組状況

- ・事務局より、資料に基づき、「仲間づくり推進 2 月末状況」について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・「Active キャンペーン」の第一弾を締め切った。2 月単月の増強数は 22 店（入会 40 店、退会 18 店）に留まった。13 代協が第一弾キャンペーンを乗り越え、入賞の挑戦権を得た。
- ・2 月末の代協正会員数は、11,911 店（入会累計 314 店〔前年 429 店〕、退会累計 548 店〔前年 521 店〕。）
- ・代申社ごとの増減は、S J N K 86 店、T N 83 店、M S 25 店、A D ・ A I G 14 店、日新 6 店、chubb 5 店、楽天 2 店と減少、一方で共栄 +4 店と増加している。
- ・年間目標達成代協は、やまがた、三重、石川、福井（V2）、京都（V6）、奈良（V6）、大阪、岡山、鳥取、徳島（V4）、香川、高知、福岡（V16）、佐賀、宮崎、沖縄（V2）の 16 代協。
- ・連クォーター稼働は、やまがた、京都、奈良、大阪、岡山、鳥取、香川、福岡、佐賀、沖縄が達成している。
- ・コンサルティングコース受講者募集については、全代協が目標達成した。
- ・三冠は、福井 5 冠（プラチナ三冠、V2）、徳島 4 冠（ゴールド三冠）、鳥取、高知、奈良（V6）、岡山、大阪、福岡（V2）、沖縄、やまがた、香川、宮崎、京都（V6）、石川、三重、山梨（V6）が 3 月 9 日時点で当確となっている。

〔資料 報 2.〕「仲間づくり推進 2 月末状況」（P.19-20）
〔資料 報 3.〕2019 年度目指せ三冠王（P.21）

(2)損害保険大学課程

- ・事務局より、資料に基づき、コンサルティングコース受講申込結果、損害保険トータルプランナーの認定状況等について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

コンサルティングコース受講申込結果

- ・2019 年度のコンサルティングコース受講者募集については、全代協が目標を達成し、合計で 1,468 名となった。代協会員の比率は 73.6%（1,025/1,393）と昨年の 67.4%から

上昇した。

- ・損保ジャパン日本興亜社 446 名、三井住友海上社 373 名、東海日動社 256 名、あいおい社 188 名、A I G 社 133 名という結果であった。
- ・今回の募集に当たっては、保険会社における手数料体系や認定制度の改定といった特別な追い風はなかったため、各代協は地道な受講勧奨を行い、成果に結びつけたと言える。

損害保険トータルプランナーの認定状況等

・ 1 月末時点	損害保険トータルプランナー	15,920 名 (+ 11 名)
	認定有効者数	14,076 名 (43 名)
	代理店検索機能登録	4,025 店 (+ 35 店)
	損害保険プランナー	85,361 名 (+ 457 名)
	有効認定者数	41,589 名 (+ 172 名)
	ゴールドカード保有者	6,660 名 (+ 26 名)

〔資料 報 4.〕 1. コンサルティングコース受講申込状況 02/21 募集最終結果 (P.22-23)
2. 損保トータルプランナー認定状況等 1 月末状況 (P.24-25)

(3) 日本代協アカデミーの展開

- ・事務局より、資料に基づき、利用者 ID 登録状況ならびにコンテンツ等について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・ 3/3 集計の利用者 ID 登録状況では、福井県代協が初めて目標を突破した。134 の目標値に対して 136 ID を正式に登録した。全体では、791 代理店・3,034 ID、平均目標達成率 25.0% となっているが、達成率 10% 未満の代協も 6 代協あり、本腰を入れた活用推進の取組みが待たれる。
- ・提供している学習ガイドと学習モデル (エクセル版) を利用して、「年間教育・研修計画」の策定を行う会員が徐々に増えてきている。未確認の方は、まずは内容の確認から入ってほしい。
- ・損保業界の品質はひとえに代理店の品質に係っており、私たち代理店は自らを磨く努力を止めることはできない。所属する保険会社で用意された「コンプライアンスと商品研修の e ラーニング」の履修だけで立ち止まっている代理店は、「D (教育) 」で求められる体制整備のミニマムレベルであることを認識してほしい。「ロープレ研修」や「日本代協アカデミーの教育コンテンツ・情報提供コンテンツの活用によるベストプラクティスの取り込み」を「代理店の年間教育・研修計画」に盛り込んで、一歩先を行く代協会員として、お互いを高め合っていくことが顧客本位の業務運営に本気で踏み出すことになる。

〔資料 報 5.〕 1. 日本代協アカデミー利用者 ID 登録状況 (P.26)
2. 日本代協アカデミー・コンテンツ一覧 (席上配付)
3. 日本代協アカデミーコンプラ講座アピールちらし (P.27-28)

(4) 活力研実施報告

- ・事務局より、資料に基づき、2019 年度第 2 回の活力研の実施報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・ 2020 年 2 月 18 日 (火) 15 時 ~ 17 時 45 分 日本代協会議室にて開催した。
- ・「今後の代理店経営を考える」の 1 テーマとして各社の専門チャンネル戦略の公式見解を確認し、本社方針と現場の対応における乖離がある事例などについて情報交換を行い、業界全体がより良い方向に向かえるよう本音の論議を行った。
- ・各社が求める専門代理店像における共通のキーワードは、業務品質の確保、事業の持続性 (含む若者の就職先に選ばれる業態) などだった。企業開拓力や組織マネジメント力の向上が課題として認識されている。

- ・出席者：あいおいニッセイ同和、損保ジャパン日本興亜、東京海上日動、三井住友海上のり
テール営業推進担当部長及び日本代協正副会長、企画環境・ビジョン委員長、事務局。
- ・詳細は、3/6（金）に配信済の議事録を確認いただきたい。

〔資料 報6.〕「活力研」論議内容メモ 0218(席上配付資料)

(5)代理店経営サポートデスク相談対応状況

- ・事務局より、資料に基づき、代理店経営サポートデスクの相談対応について報告があり、確認、共有された。

【主な内容】

- ・2月末で累計32件の相談があった。「質問概要と回答」シートのとおり、事業継続力強化計画認定申請、情報セキュリティー、給与改定等に関する相談に対応した。
- ・2月18日付け送信した日本代協版「BCP策定ガイド・同シート」は自然災害を想定被害として作成したものであったため、新型コロナやインフルエンザ等のパンデミック(以下)パンデミック用BCPシート(席上配付分はドラフト)を近日中に提供する。
()パンデミック：日本語的には“感染爆発”などと訳され、感染症や伝染病が全国的・世界的に大流行し、非常に多くの感染者や患者、死者が発生することをいう。
語源はギリシャ語のパンデミアで、パンは「全て」、デミアは「人々」を意味する。
- ・3/10の臨時総会で事業計画案が承認されれば、次年度においては本ガイド・シートを活用するためのセミナーを全国で展開する。

〔資料 報7.〕「代理店経営サポートデスク」相談対応状況(P.29-32)

〔資料 報8.〕1.日本代協BCP策定簡単ガイド、2.BCP策定シート(別冊配付)

〔資料 報番外.〕新型コロナ(新型インフルエンザ)パンデミック時の代理店における対応(席上配付)

2. その他

(1)業界動向最新情報

- ・事務局より、業界動向の最新情報について報告があり、共有された。

【主な内容】

- ・2/26の金融庁との打ち合わせにおいて、仲介法制に関する監督上問題となる懸念点を伝えてきた。法制化の所管は監督局保険課ではなく保険企画室となっている。懸念点は、1.対象商品の問題、2.手数料の開示に関する問題、3.一物二価等であり、既存のルールとの相違から派生する様々な問題を伝えてきた。
- ・関東財務局60店ヒアリングは、2月末で終了しており、まとめの作業に入っている。講評のタイミングをうかがい、改めてセミナー等の開催を要請する。
- ・損保クラウドの普及が進んできている。TN社では、上位認定クラス代理店では80%以上が導入済である。業界としても標準推奨しているので、未導入の場合は、初期費用無料キャンペーン期間中(3月末まで)の導入を推奨する。
- ・2/6正副会長・専務理事・常務理事で「現状と課題」に関する勉強会を実施した。
- ・日本代協小出特命部長はあいおいニッセイ同和社のコンタクトセンター事業部(成増)に異動発令があり、後任は浜松支店より大谷 隆(オオタニ リュウ)氏が出向で着任する。また損保協会近畿支部事務局長(元募集・教育サービス部長)の小峯雅也(コミネ マサヤ)氏も出向で着任する。両名とも4/1から日本代協事務局に出社する。

また、東京代協事務局にも4/1～大島 康志氏が三井住友海上火災社から出向で着任する。猪股事務局長と1年かけて引き継ぎを行うこととなっている。

〔資料 報9.〕1.ふうたのワンポイントレッスン part4.vol.11(P.33-34)

〔資料 報9.〕2.損保クラウドパンフレット(P.35-38)

〔資料 報9.〕3.サイバーセキュリティ対策セミナー実施状況(P.39)

(2)その他

募集コンプライアンスガイド（2019年12月24日）

- ・募集コンプライアンスガイド（2019年12月24日汎用版）が配信された。各損保からも当該汎用版をもとにしたガイドが提供されていると思う。

<https://www.sonpo.or.jp/news/notice/2019/ctuevu000000qoz6-att/boshuguide.pdf>

直近の監督指針改定の内容を反映し、わかりやすさの観点から項目を追加した。

NO	現行の項目	改定する内容	備考
1	2-1 募集人の権限等に関する説明	2019年9月6日から適用となった金融庁「保険会社向けの総合的な監督指針」による「保険募集人の旧姓使用」に関する説明を追記	-
2	2-2-5 重要事項説明(情報提供)	2019年10月11日公示の金融庁「保険会社向けの総合的な監督指針」によるパブコメ案を反映して修正	2019年12月18日、先パブコメの結果公表があり、パブコメ案どおりとなった。
3	2-4 保険料の領収		
4	参考資料[3] 代理店・募集人の自己点検チェックリスト	自己点検実施時の「観点」を記載	-
5	その他	表記、表現、言い回しなど記載に関する事項	-

その他

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、損保一般試験の2020年3月中の受験を原則として見合わせ願うことが通達された。（業務上やむを得ず新規試験を受験する場合を想定し、試験会場の一斉閉鎖は行わない）

影響を受ける募集人の資格有効期限を資料のとおり延長される。

〔資料 番外〕新型コロナウイルスの影響に伴う損保一般試験の受験見合わせと資格有効期限の延長等(席上)

〔資料 報 10.〕1.0221 保毎記事 東京代協セミナー（P.40）

〔資料 報 10.〕2.0224 新日本記事 akippa 展開（P.41）

〔資料 報 10.〕3.0224 新日本記事 みなさまの保険情報活用事例（P.42）

〔資料 報 10.〕4.0227 保毎記事 ほけんの窓口 G 金融リテラシー（P.43）

[監事講評]

- ・杉本監事より、以下の通り、監事講評された。
 - ・通常であれば、「目指せ、三冠王！」の最終追い込みが可能となる期末期を迎えているが、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない状況で、不安を抱えながらの活動となっていると思う。何よりも理事、社員、お客さまの安全第一を最優先に取り組みられていると認識している。
 - ・本日の理事会は審議事項、報告事項ともに適正に運営されたと判断する。
本年度は「目指せ、三冠王！」の表彰項目に各代協の重点取組項目が採用され、本日時点でも15代協が三冠王を獲得し、24代協がリーチをかけた状態で、例年と比較しても大変盛り上がっているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、更なるムードアップが図りづらいところが非常に残念に思うところである。
また、ホームページのリニューアルに関しては、「わかりやすさ、使いやすさ、扱いやすさ」をコンセプトとして、動画も取り入れるなど、知りたい情報にアクセスしやすくなったので今後のアクセス数の伸びに期待できる。意見を確認し、より充実させてほしい。
 - ・明日3/10は臨時総会、政治連盟通常代議員会、全国会長懇談会が開催される。皆さんの安全確保を最優先に運営を進めていただきたい。日本代協が一丸となって、乗り切っていこう。

以上

<今後のスケジュール>

2020年3月～2021年2月のスケジュール (案)

損保会館の予約状況ならびに会議体のあり方の改定状況によっては、日程の変更がありますので、予めご了承ください。

2019年度	3月9日(月)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第8回理事会	日本代協 会議室
	3月10日(火)	10:00～12:00 13:00～18:00	臨時総会 政連通常代議員会・第2回全国会長懇談会	損保会館 2F(大会議室) "
2020年度	5月7日(木)	16:00～17:30 17:45～20:00	損保労連との懇談会(正副会長、委員長が参加対象) 懇親会	日本代協 会議室 会場 未定
	5月8日(金)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打ち合わせ 第1回理事会 テーマ:通常課題	日本代協 会議室
	6月15日(月)	13:00～17:00	正副会長打合せ	日本代協 会議室
	6月16日(火)	10:00～ 11:30～12:00 13:00～14:00 14:00～17:00 17:15～18:15 18:30～19:30	来賓ご挨拶/通常総会 新体制理事会(2020年度第2回理事会) 政治連盟臨時代議員会 第1回全国会長懇談会 セミナー(予定) 同上懇談会(有志・立食・会費制を予定)	損保会館2F(大会議室)確定 損保会館(3F)
	6月17日(水)	9:30～16:00 9:30～12:30	新任会長オリエンテーション 新体制理事打合せ(終了後新任会長オリエンテに合流)	日本代協会議室 有楽町リファレンス205会議室
	6月26日(金)	10:00～16:50 17:15～19:30	代協事務局職員研修 情報交換会	有楽町リファレンス205会議室
	7月3日(金)	15:30～17:30 17:45～20:00	業界紙懇談会(会長、広報担当副会長、広報委員長) 懇親会	日本代協 会議室 懇親会あり 会場 未定
	7月8日(水)	10:30～18:00	新体制理事合宿	日本代協会議室
	7月9日(木)	9:30～12:00 16:00～17:30 17:45～20:00	新体制理事合宿 損保7社懇談会(正副会長、教育・組織委員長) 懇親会	日本代協 会議室 会場 未定
	7月10日(金)	10:30～12:00 13:00～17:00 17:00～18:00	正副会長打ち合わせ 第3回理事会 テーマ:通常議題 セミナー	日本代協 会議室 (懇親会 無)
	7月17日(金)	15:00～17:30 17:45～20:00	活力研(正副会長、企画環境委員長) 懇親会	日本代協 会議室 懇親会あり 会場 未定
	9月14日(月)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第4回理事会 テーマ:通常課題	日本代協 会議室
	9月15日(火)	11:00～17:00 17:00～18:00 18:15～19:30	第1回ブロック長懇談会 情報提供:好取組事例の紹介 同上懇親会(有志・会費制)	損保会館 2F(大会議室) " 会場 損保会館3F食堂
	10月15日(木)	9:30～10:45 11:00～17:00 18:00～	正副会長打ち合わせ 第5回理事会 テーマ:通常議題 損保協会との懇談会(日本代協主催)	日本代協 会議室 会場 未定
	12月7日(月)	10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 第6回理事会 テーマ:通常議題	日本代協 会議室
	12月8日(火)	11:00～17:00 17:00～18:00 18:10～19:30	第2回ブロック長懇談会 セミナー 同上懇親会(有志・会費制)	損保会館 大会議室 会場 損保会館3F食堂
	2月5日(金)	9:15～10:15 10:30～12:00 13:00～17:00	正副会長打合せ 財務委員会 第7回理事会 テーマ:事業計画案、他通常議題	日本代協 会議室

以上をもって、議長は理事会の終了を宣し、16時42分閉会した。
上記理事会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人記名押印する。

2020年3月9日

議長 会長 金子 智明 印

議事録署名人 監事 杉本 恭三 印

議事録署名人 監事 吉川 正幸 印

議事録署名人 監事 渡辺 眞一 印